



●甲府やまなみクラブ会長主題：千里の道も一歩から

～一歩ずつ着実な歩みを進めましょう～ 米山 俊彦

●あずさ部長主題：めあて望み ピーター・マウントフォード (甲府)

●東日本区理事主題：ワイズの方向を見極める 山田 公平 (宇都宮)

●アジア太平洋地域会長主題：大きなインパクトを起こそう ジョウン・ウォング (香港)

●国際会長主題：より良い世界のために、共に A・シャナヴァスカーン (インド)

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2025年 5月
No.32

●今月の強調目標

LT・ユース

●今月のことば

「小さな一歩が、大きな未来を動かす。」

三井 雅之 君 選

今月の例会案内 (第32回)

●日時：2025年5月14日(水) 18:30～20:30

●会場：山梨YMCA

●会費(食事代):1,000円

・開会点鐘 米山 俊彦 会長

・ゲスト・ビジター紹介 司 会 者

・ワイズソング 一 同

・会長あいさつ 米山 俊彦 会長

・今月のことば 三井 雅之 君

・入会式 山梨YMCA・田草川 啓 君

・ワイズディナー

・ゲスト卓話

「不動産の鑑定の今」

不動産鑑定士(中央カンテイ)土屋真人様

・諸報告

・YMCAの歌 一 同

・閉会点鐘 米山 俊彦 会長

Photo
of
monthly



【4月19日(土)Week 4 Waste 甲府駅北口清掃活動】

▼ 今月のことば ▼

三井 雅之

この言葉には、日々の小さな行動や地道な努力こそが、やがて大きな成果や変革につながるという意味が込められています。

ビジネスの現場では、即効性や結果を求められる場面が多くありますが、目に見えにくい小さな積み重ねこそが、信頼を築き、チームを強くし、企業の成長を支える原動力になります。

今月はこの言葉を通じて、「まずは一歩踏み出すこと」「継続することの価値」を改めて見つめ直し、個人としても組織としても前進する月にしていきたいと思います。

4月のデータ

会員数:11名 例会出席:メン5名、コメット1

名 例会出席率:45% メーキャップ:渡邊

修正出席率:55%

Week for Waste(収集ゴミ):3kg

ハッピーバースデー

大澤 祥子 (5/28)

アニバーサリー

該当者なし

● 北口清掃活動と 4 月例会 ●

仙洞田安宏

今年の最高気温(30.6度)を記録した4月19日、Week 4 Waste の一環で甲府駅北口広場とその周辺の清掃活動を行いました。Week 4 Waste は2020-2021 年度から世界中のワイズメンズクラブの統一事業として、毎年4月22日のアースデーと9月中旬のワールドクリーンアップデーに合わせて行われているもので、やまなみクラブは昨年に続き2回目の実施となりました。

11:00に藤村記念館前に集合しましたが、北口広場では大きなイベントが開催中で、隣接する駐輪場や歴史公園でのゴミ拾いとなりました。昨年同様目立ったゴミは多くはありませんでしたが、それでも20L入りのゴミ袋に2個ほど(約3kg)集めることができました。

清掃活動を終え、近くの「茶房どんぐり」で看板メニューのオムライスを食べながらのランチ例会を行いました。山梨YMCAチャリティーランへの協賛、今後の行事予定への参加者確認、次年度の準備等を協議しました。

参加者:米山・松本・藤原・大澤・仙洞田、藤原コメット

▼ 近況報告 ▼

▼ 今年も5月2日～5日に、遊亀公園内の稲積(いなづみ)神社で、江戸時代から続いている祭りの一つと言われている農業の神様のお祭り「正ノ木祭り」が開催され、好天にも恵まれ大勢の家族連れ・若者・外国人等で賑わいました。公園は我が地区にあるため、初日に各自治会長、民生員、シニアクラブ等で園内のパトロールをしました。(松本公夫)



▼我が家にキジトラ(・・・)が来るようになってから数年が経ちます。冬場には、こちらが起きていたうちに来て、ソファを寝床に朝まで静かにしていたのが、最近では、来訪が深夜になったり、明け方に“外へ出せ!”と起こされることも度々。寝不足や部屋の掃除



【歴史公園でのゴミ拾い】



【ランチをいただきながらの例会】

の愚痴を言いながら、どうやら私も「犬派」から「猫派」に改宗させられたようです。(米山俊彦)

▼ゴールデンウィークは特段どこも行くことなく、子供と公園に行って遊ぶなどゆったりとした時間を過ごしました。今度大阪に出張に行く予定があるので万博に行けたらと思っております。(藤原一正)

▼去る4月20日、石和温泉の「ホテルやまなみ」で、高校時代のクラス会が8年振りにありました。県内在住の同級生3人で幹事をして昨年からの準備をしてきました。当日は遠くは三重からも駆けつけてくれました。話題は、健康のことが多く、仕事の話が前回よりも少なくなったのは少し寂しかったです。(仙洞田安宏)

▼ これからの予定 ▼

- ✓5月16日(金) チャリティーラン実行委員会(山梨Y)
- ✓5月24日(土) 第27回チャリティーラン(小瀬)
- ✓6月 4日(水) 6月例会(山梨YMCA)
- ✓6月 7日(土) 東日本区大会(宇都宮)
- ✓6月18日(水) クラブ役員会(山梨YMCA)
- ✓7月 2日(水) 7月キックオフ例会(山梨YMCA)



山梨 YMCA 総主事
中田 純子

「創立79周年記念早天祈禱会のご報告」

5月1日(月)、本館グローバルコミュニティセンター3階「大澤英二記念ホール ベテル」にて、「創立79周年記念早天祈禱会」を開催いたしました。歴代総主事をはじめ、山梨YMCAに連なる皆様25名が集い、79年の歩みを喜びと感謝を分かち合うひとときとなりました。

山梨YMCAは、戦後の混乱が残る1946年5月1日、国内13番目の都市YMCAとして誕生しました。創設にあたっては初代理事長・市川規一氏の自宅を開放しての事務所設置など、地域の希望となる歩みが始まりました。会館建設や多様なプログラムの展開、幾度もの移転と発展を経て、2014年には公益財団法人化、2020年にはグローバルコミュニティセンターの竣工と、地域とともに歩み続けてきました。

これまで山梨YMCAは、語学、野外活動、保育、高齢者・障がい児者支援など、すべての人が共生できる地域社会の実現を目指して事業を展開してきました。ワイズメンズクラブのチャリティーランやチャリティーバザーの協力、「銀河鉄道の森プロジェクト」などの自然体験や里山再生、お正月遊び体験、そしてユースリーダー育成にも連携し力を注いでいます。

YMCAの一番の願いは、集うすべての子どもや若者、一人ひとりが自分の価値を見出し、仲間とつながり、希望をもって自分らしい花を咲かせられる社会を築くことです。そのために、YMCAが「みつかる。つながる。よくなっていく。」かけがえのない場所となり、誰もが安心して成長できる環境を守り続けたいと心から願っています。

創立79周年という節目を迎え、これまで支えてくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。山梨YMCAは、これからも地域に根ざした活動を続け、未来へ向けて新たな一歩を踏み出していきたいと思います。

ミャンマー地震緊急支援募金のお願い 4月14日発出 山梨 YMCA 総主事 中田 純子

去る3月28日ミャンマーにおいて大規模な地震が発生いたしました。このことにより、国内各地において大きな被害が発生し、多くの死傷者、行方不明者がいると伝えられており、被害状況はさらに広がることが懸念されています。現在、このことを受け、ミャンマー地震の支援のために、日本YMCA同盟並びにPHD協会(本部:神戸市)の2団体から緊急支援募金の要請が来ております。

特に、PHD協会と山梨YMCAとの関係は深く、2023年度から、2度にわたって2名のミャンマーからの研修生の受け入れを行っております。研修においては、山梨YMCAの子どもたちや高齢者、職員と交流を深め、ミャンマーは身近な国となっていましたので、今回の出来事には、皆が心を痛めておりました。

幸い、研修生としておいでになったチェリーさん、ミーミーさんの無事が確認されたという知らせがあり、安心したところです。

そこで、山梨YMCAでも、緊急支援要請に応えるため、全国のYMCA及びPHD協会とも協力し、緊急支援募金を実施することにいたしましたので、皆様の積極的なご協力をお願い申し上げます。

<募金方法>

会員並びにワイズメンズクラブの皆様は、本館及び各事業所に設置しました募金箱に、直接お入れください。また、集会やイベントの際にも、募金箱を用意します。

<募金期間>

2025年4月14日～5月31日

♣ やまなみ農園だより ♣

4月18日、4月26日、5月5日と農園に行きました。玉葱は順調に生育しています(写真右)。ジャガイモの芽かき、土寄せをしました(写真中)。また、サツマイモ植え付けのための準備で畝作りをしました(写真左)。

